

あいち農産物生産流通レポート

平成28年12月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ バラ新品種「愛知1号」を開発	(農業総合試験場) 1
・ あいちの農林水産フェアを開催しました	(食育推進課) 3
◎ 地域トピックス	
・ “花半島事業フラワーフェスティバルin武豊”が開催されました	(知多農林水産事務所) 4
・ 一宮地方総合卸売市場の活性化に向けたヤマト水産の挑戦	(尾張農林水産事務所) 5
◎ 東日本情報	
・ 実りのフェスティバルであいちの農産物を紹介	(東京事務所) 6
◎ 西日本情報	
・ 愛知県内での農産物PRイベントアラカルト	(食育推進課) 8
◎ フラワーページ	
・ 「あいちおもてなし花壇」をリニューアルしました	(園芸農産課) 10
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	13
・ 名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し	14
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)	26
◎ 輸出入	
・ 主要農林水産物の輸出入実績(2016年9月)	30
◎ 関連指数	31

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6719

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

バラ新品種「愛知1号」を開発

農業総合試験場

1 はじめに

切り花品目での全国産出額において、バラはキク、ユリ類に次ぐ額であり、その額は187億円（平成26年産）となっています。中でも本県のバラ生産は全国第1位で、産出額26億円、作付面積52ha、出荷量4,920万本と、2位以下を大きく引き離しています（産出額2位 静岡:19億円、3位 山形:15億円）。

しかし、バラを始めとした切り花全般の消費量は減少傾向にあり、さらに、安価な輸入切り花の安定供給により販売価格の上昇も望めません。生産者からは、このような状況を打開するため、商品性の高い本県独自品種の育成が強く望まれてきました。そこで、農業総合試験場は、平成19年度から愛知県花き温室園芸組合連合会ばら部会の生産者と協力し、新品種育成に取り組みました。今回、赤色でスタンダードタイプの切り花品種のバラ、「愛知1号」を開発しましたので紹介します。

2 育成経過

平成22年春に150の組み合わせで交配を行い、同年秋に約2万粒の種子を播種し、以後、花色、花形、トゲの強弱、生産性等に優れた個体の選抜を繰り返しました。その後、26年に長久手市、西尾市及び豊橋市において現地試作を行うとともに市場性評価を行い、27年1月に育成を完了しました。

「愛知1号」は育種目標とした性質を有し、実用性が高く、生産者から品種登録への強い要望があったため、愛知県は27年6月に品種登録出願を行いました。その後同年9月に国から出願公表（第30254号）されました。

3 「愛知1号」の特徴

- ・最も需要が高い、濃赤色^{けんべんこうしん}で剣弁高芯咲きのスタンダードタイプの切り花品種で、幅広い用途に利用できます。
- ・花弁数が多くボリューム感があり、開花速度が緩やかなので、通常の品種に比較して良好な花形を数日長く保つことができます。
- ・高温期でも品質劣化が少ないため、一年を通じた収穫・出荷が可能です。
- ・茎にトゲが少なく、販売店や消費者が扱いやすい品種です。
- ・わき芽の発生が少なく、管理が容易です。
- ・年間切り花本数は、同花色の県内主力品種「サムライ08」とほぼ同等です。



4 流通について

本品種は、昨年秋から出荷が始まっています。また、新たな取組として、一部は生産者がファッションショッピングサイト「ZOZOTOWN」を運営する(株)スタートトゥデイとコラボし、「ZOZOバラ」の流通名称で出荷されています。出願公表後3年間は県内生産者のみの生産とし、赤バラの主力品種として、普及拡大を目指します。

あいちの農林水産フェアを開催しました

食育推進課

本県の新鮮で、安全・安心な農林水産物や、県産食材を活用した加工食品を県民の方々に広く紹介する「あいちの農林水産フェア」を、11月9日（水）から14日（月）まで名古屋市中区栄の三越で開催し、六日間で29,000人余の方が来場しました。

【 内 容 】

1 県産農林水産物及び加工品の紹介・販売

54の企業・団体が出展し、れんこんやぎんなんなどの旬の農産物を始め、一色産うなぎの蒲焼き、西尾の抹茶を使ったお菓子など、“あいち産”にこだわった産品を数多く紹介・販売しました。

また、イートインコーナーでは、話題の料理人がフェアのために考案した、あいちの食材のおいしさを生かした「フェア限定メニュー」を提供し、地産地消を体感していただきました。



オープニングセレモニー

2 楽しく学べる主催者企画

日替わりイベントでは、ぬか漬け作りやバター作り、ふりふりおにぎりを作ろうなどの体験企画のほか、ふるまい餅、楽しい食育クイズなど、いずれの企画も好評でした。

また、大学生による県産小麦（きぬあかり）を利用したおやつを紹介や販売などを実施し、会場内に活気があふれていました。



生産者が自ら作った農産物をPR

今回は、会場を三越に移しての開催となりましたが、毎年このフェアを楽しみに来てくださるリピーターだけでなく、初めて来られた方も多く見受けられました。

このフェアは、生産者と消費者が直に触れあい、より結びつきを強める場であるとともに、本県産の農林水産物の良さを知っていただくための絶好の機会となっています。

また、来場者アンケートでは、97%の方が来年もフェアに参加したいとの回答であり、県民ニーズの高いイベントとして定着しています。



ふりふりおにぎりを作ろう体験

“花半島事業フラワーフェスティバル in 武豊” が開催されました

知多農林水産事務所

平成 28 年 11 月 12 日(土)、13 日(日)の二日間、武豊町総合体育館において、「2016 花半島事業フラワーフェスティバル in 武豊」が開催されました。

このフェスティバルは、J A あいち知多花半島事業構想^{*}を具体化した事業として 5 市 5 町で順番に開催されており、今回で 10 回目となります。

会場入口では、水ゴケで作られた J A あいち知多のマスコットキャラクター「つつちーた」が来場者を出迎えました。また、会場内は、各市町が地元で生産されている花や観葉植物の特徴を活かした展示を行い、さらに、巨大クリスマスツリーや花で半島をかたどったモニュメントも設置され、華やかに彩られました。

期間中は、先着来場者計 1,400 人への鉢花のプレゼントや寄せ植え教室が実施され、また、隣接地で開催された「武豊町産業まつり」からも多くの方が訪れました。来場者は二日間で約 8,000 人を数え、愛知県有数の花き産地である知多半島・花半島が大いに PR されました。

平成 19 年度から始まったこのフェスティバルは、今回で市町を一巡しました。今後は新たな形での開催が検討されており、引き続き支援していきます。



水ゴケで作られた「つつちーた」



開催地 武豊町の展示



知多半島のモニュメント

【J A あいち知多花半島事業構想】

花半島事業推進本部(事務局: J A あいち知多生活部、平成 16 年度設置)が中心となり、「知多半島をより一層快適な空間にしていくために、四季を通じて花の咲き乱れる地域を目指し、同時に、愛知県有数の花の産地である知多半島のイメージアップと、これらを通じて知多半島の農業振興・地域振興に寄与する」ことを目的に、知多半島 5 市 5 町及び J A の助成により運営。

一宮地方総合卸売市場の活性化に向けたヤマト水産の挑戦

尾張農林水産事務所

一宮地方総合卸売市場は、青果物と水産物を取り扱う総合市場として、昭和56年3月に青果卸売会社2社、水産卸売会社1社が入場し開設されました。取扱金額は平成10年をピークに減少に転じ、平成26年には青果物卸売会社のうち1社が、平成27年には水産物卸売会社が撤退したこともあり、平成27年には35億6千万円と、ピーク時の30%にまで落ち込んでいます。

総合市場として、市場利用者の利便性の向上と市場の活性化は必須であることから、開設者は新たに入場する水産物卸売会社を探していました。

このような中、平成28年4月に(株)ヤマト水産が入場し、水産物の卸売を開始しました。



一宮地方総合卸売市場

○(株)ヤマト水産の入場の経緯

(株)ヤマト水産の木村社長は以前、市場内の水産物卸売会社に勤務していましたが、退職し、市場の買受人となり、移動販売車を中心に魚介類等の販売を行っていました。しかし、①市場内のお客さんから卸売業者としてぜひ入場して欲しいとの要請があったこと、②市場での水産物の取扱いがないと自分の仕事が成り立たないこと、などの理由から入場を決意しました。

○現状と今後の課題

水産卸売会社の撤退後、買受人からは「水産物が購入できないならば他の市場に変わろうかな」という声がありましたが、変わることなくそのまま市場に留まっており、(株)ヤマト水産が入場した効果が現れています。



鮮魚を並べる木村社長

現在、買受人約70人のうち常時買受人は約35人で、売上げの70%~80%は乾物や加工品であり、鮮魚は20~30%となっています。木村社長は5年ぶりに市場に戻ってきましたが、鮮魚が以前にも増して売れなくなっており、鮮魚の消費拡大のために、幼児からの食育活動が必要と考えています。

厳しい状況の中で、市場の活性化のため入場した(株)ヤマト水産の挑戦に期待をしたいと思えます。

「実りのフェスティバル」であいちの農産物を紹介

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

平成28年11月11日（金）及び12日（土）の二日間、東京都豊島区にあるサンシャインシティワールドインポートマートビルで農林水産祭（農林水産省、（公財）日本農林漁業振興会共催）「実りのフェスティバル」が開催されましたので、その概要を紹介します。

○「実りのフェスティバル」について

「実りのフェスティバル」は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善と経営発展の意欲をたかめるため実施される『農林水産祭』において、優秀農林水産業者の技術・経営の紹介、農林水産物の展示・即売等を行うイベントで、今回で55回目の開催となります。

出展した35都道府県の販売ブースでは、御当地自慢の農林水産物やその加工品が販売され、キャンペーンレディやゆるキャラがイベントを盛り上げていました。展示コーナーでは、『農林水産祭』のもう一つの事業である、優秀農林水産業者に対して下賜された天皇杯等の授与と収穫を感謝する「農林水産祭式典」での三賞（天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞）の紹介や、都道府県が開発した農業技術等が紹介されました。

なお、11日の開場前には皇室の御視察があり、秋篠宮同妃両殿下が本県ブースを御視察されました。両殿下は本県ブースに並んだふき、大葉等に関心を抱かれ、ふきは愛知県独自の品種を育成しており、大葉は露地栽培と施設栽培にを組み合わせることによって周年出荷を行っている等、本県の農産物の特徴について御紹介することができました。

二日間の来場者数は47,000人（主催者発表）となり、初日が悪天候であったにもかかわらず多くの来場者で賑わいをみせていました。

○愛知県ブースでの販売

本県ブースでは、本県を代表する農産物としてキャベツ、ブロッコリー、大葉、ふき、トマト、ミディトマト、ミニトマト、次郎柿、ぎんなん、切り花（スプレーマム、ピンポンマム）、シクラメン及びうずら卵の燻製を販売しました。試食にはミニトマトや次郎柿を



会場の賑わい状況



愛知県ブースでの販売の様子

用意し、ブースを訪れた方にはレシピやリーフレットを渡すなどして本県産農産物をPRしました。

来場者の中には、「毎年、愛知県ブースで販売しているシクラメンがいいなあと思っていたの。」と言いながら購入される方もおり、本県ブースを楽しみに来られる方が年々増えているように感じました。

一方、本県がキャベツ、大葉、ふき、ぎんなん等の主産地であることを知らない来場者が現在も多く、首都圏での本県産知名度を高めることの必要性を感じました。

○本県の天皇杯受賞者を紹介



有限会社 鍋八農産（弥富市）

本県では、天皇杯の農産部門において(有)鍋八農産（代表：八木輝治氏）が表彰されました。

○本県の施設園芸新技術を紹介



愛知県の展示コーナー

本県は、農業総合試験場が開発した施設園芸の新技術3点（写真左から、あぐりログ、あいち型植物工場及び総合的環境制御技術）を紹介しました。

愛知県内での農産物PRイベントアラカルト

食育推進課

愛知県内では、他県による物産展や農産物のPRイベント等が開催されるとともに、本県産農産物による地域おこしのイベントも行われています。その中から、今年行われたイベントを3つピックアップして、概要を紹介します。

○『山形県の観光と物産展』(主催:山形県の観光と物産展実行委員会、後援:愛知県 他)

このイベントは毎年、山形県の代表的な果物・さくらんぼの出荷がピークを迎える6月に観光物産展として開催され、今年も平成28年6月8日(水)～14日(火)の7日間、名鉄百貨店本店にて開催されました。11日(土)には、日本遺産に認定された出羽三山で山伏修行を体験した『山伏女子[※]』12名が来場し、山形県の観光案内を行うとともに、山伏女子が当日朝に摘み取った新鮮なさくらんぼをプレゼントするなど、山形県の魅力を来場者にPRしました。



来場した「山伏女子」

百貨店をはじめとする、商業施設やイベント会場で開催する「特産品フェア」等は、その地を訪れた事がない方にとって、その地域の特色や特産品を知るきっかけになりますが、それに留まらず、機会があれば現地に訪れてもらうことが地域の活性化につながります。愛知県でも、「こってりだけじゃない。ディスカバー愛知フェア」(URL: <http://www.kotteri.jp/>)として、首都圏や関西圏において観光と物産が一体となり、本県の魅力をより一層広める取組を進めている中、今回のように観光物産PRだけでなく、交通アクセスをあわせてPRすることも、効果的な手法の一つだと思われました。

※山伏女子: FDA(富士ドリームエアラインズ)山形～名古屋便を活用した「西の伊勢参り・東の出羽三山参り～いせ、もうで、でわ、まいる～」双方向交流促進プロジェクトに、中京圏などから参加したメンバーで構成。

○群馬の「^{つまごい}孀恋高原キャベツ」PR

群馬県は、キャベツの生産量において愛知県と1、2位を争う大産地ですが、愛知県が秋から春にかけての産地に対して、群馬県は夏から秋にかけての産地ということで、出荷時期は競合せず、産地リレーを行いながら、全国へ安定した供給が行われています。

県名	入荷量(t)	占有率	主な入荷時期と月別占有率											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
愛知	22,774	50%	86%	93%	90%	93%	68%	38%	1%	1%	0%	6%	61%	89%
群馬	9,450	21%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	51%	65%	70%	47%	0%	0%

表 平成27年の名古屋中央卸売市場における愛知県産及び群馬県産のキャベツ取扱実績
(名古屋市中央卸売市場月報より)



群馬県マスコットキャラクター「ぐんまちゃん」もお手伝い

群馬県産キャベツが本県に出回りだす7月に、名古屋市中区の中日ビルにて、群馬県産キャベツの一大産地である嬭恋村による「嬭恋高原キャベツ」の即売会が行われました。

この日(7月26日(火))の午前10時40分から、同村が用意したキャベツ約200玉の販売が開始され、平日にもかかわらず、市場価格よりお値打ちということもあり、約2時間で完売となりました。

愛知県においても平成24年以降、本県産冬春野菜が出荷のピークを迎える2月頃に、首都圏の量販店において知事トップセールスや『あいちの春野菜フェア』を毎年開催し、本県産青果物の需要拡大に向けて取り組んでおり、これからも愛知県の農産物のPRに努めてまいります。

えんどうじ
○円頓寺トマト祭(主催: トマトマ実行委員会、後援: カゴメ(株) 他)

このお祭りは、8月21日(日)に円頓寺商店街(名古屋市西区那古野1)にて開催された、トマトをテーマにした「食べる、体験する」イベントです。

このイベントを企画したのは同商店街にあるレストランのオーナーシェフで、カゴメのプレミアムトマトを自身のレストランで使うなど、つながりのあったカゴメ(株)に企画を提案し、後援を受けて今年初めて開催されました。

会場の商店街アーケードには、トマトを題材とした料理や雑貨を扱うブースなどが建ち並び、商店街一帯がトマトであふれていました。

また、商店街の一角にはカゴメトマトジュースの原料に使われているトマト「凜々子(りりこ)」のプランターが置かれ、トマト狩りが行われるなど、食べるだけでなく収穫体験もでき、トマトの消費拡大に向け、美味しく・楽しく参加できるイベントとなっており、今後の展開が楽しみなお祭りでした。



トマトの収穫体験

「あいちおもてなし花壇」をリニューアルしました

園芸農産課

花の生産日本一を誇る愛知県では、関係団体と連携して県民の皆様に「花の王国あいち」をPRするとともに、あいちの花を暮らしの中に取り入れていただく「花いっぱい県民運動」を展開しています。

この取組の一環として、昨年度から県庁及び名古屋駅周辺に「あいちおもてなし花壇」を設置し、本県産花きで装飾しています。今年度、県庁本庁舎周辺においては、新たに大型プランター等を設置し、季節の花を植栽するとともに、本庁舎内で屋内特別展示を行っています。また、名古屋駅周辺においても、名古屋駅地区街づくり協議会と連携し、新たにコンテナを設置するなど、より充実した花壇にリニューアルしています。

1 県庁本庁舎の玄関前の花き装飾（全3回）

県庁本庁舎の玄関前に新たに大型プランターと大型丸鉢を10月13日に設置し、銘板花壇を本県産の5種類の季節の花（①スプレーギク、②セロシヤ、③アキランサス、④ムラサキシキブ、⑤パープルファウンテングラス）で植栽し、シンボルマークとともに、「花の王国あいち」をPRしました。

2回目の装飾は12月2日に実施し、3回目は3月中旬を予定しています。



銘板花壇



大型プランター



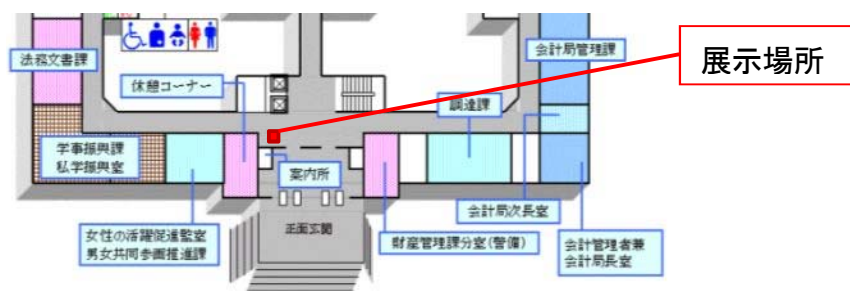
大型丸鉢

2 県庁本庁舎の屋内特別展示（全5回）

本庁舎1階玄関正面ロビーにおいて、1回目はベルギー国王来庁（10/13）、2回目は県庁公開デー（11/3）にあわせて本県産花きを使用した特別展示を実施しました。

今後は、クリスマス（12月）、フラワーバレンタイン（2月）、ホワイトデー（3月）にあわせた展示を予定しています。

県庁本庁舎1階





1回目 (10/14 から 10/26 まで)



2回目 (10/27 から 11/2 まで)

3 名古屋駅前中央花壇の花き装飾 (全3回)

名古屋駅地区街づくり協議会が管理する名古屋駅周辺の花壇 (約 95 m²) 内に「あいちおもてなし花壇 (約 45 m²)」を 11 月 1 日に整備し、名古屋駅を訪れる方々に「花の王国あいち」を PR しました。

今回の花壇は、今月のあいちの花である「ガーデンシクラメン」をメイン花材として使用し、デザインコンテナを 4 基設置するなど季節感と立体感のある花壇となっています。

今後の花壇の植替は 12 月 14 日 (2 回目)、3 月中旬 (3 回目) を予定しています。

○「あいちおもてなし花壇」の設置場所



緑色 : 街協管理花壇 約 95 m²

赤色 : あいちおもてなし花壇 約 45 m²



名古屋駅前中央花壇



あいちおもてなし花壇

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋市中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
27年実績	2,421	1,218 (50%)	489	503	愛知 (50%) 茨城 (47%) 中国 (2%)
28年見通し	2,350	1,250	550	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知、茨城から入荷する。愛知は夏場の高温、9月の日照不足の影響はなく、台風がなかったため、良好な生育。品種はロータス系、金澄系。茨城は生育期の台風の影響で例年よりも肥大は悪い。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>れんこんは縁起ものであり、安定した需要がある。産地では高齢化のため、作付面積は年々減少しているが、需要に応じた生産量を確保して欲しい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
27年実績	9,609	539 (6%)	357	386	長野 (41%) 茨城 (25%) 福岡 (11%)
28年見通し	9,810	—	350	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>サニーレタスの総入荷量は年々増加傾向にあり、福岡や兵庫、香川など西南暖地で作付面積が増加している。台風とその後の曇雨天の影響で8月からの入荷量は前年割れが続いているが、それ以前は順調入荷が続いた。本県産は年内入荷が少なくなる見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込みである。</p>			<p>サニーレタスは業務需要のウェイトが高いことからシーズン契約や週間特注等の取引が年々増加傾向にある。そのため、より一層の安定入荷が期待されることから、生産量の増加をお願いしたい。 品質に関しては、大きな問題はないが他産地が向上してきており、ボリューム感や色づけ等生産者間の格差是正に努めてほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜	23年	35,413	197	199	192	201	北海道 29%
	24年	34,363	209	185	201	240	愛知 26%
	25年	35,377	216	186	213	239	茨城 7%
	26年	33,387	241	230	227	271	長野 4%
	27年	36,624	218	186	216	243	熊本 4%
	計	5ヵ年平均	35,033	216	—	—	—
28年見通し	34,900	288	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>葉物は愛知を中心に、果菜類は愛知、西南暖地から、土物は北海道などから入荷する。9月の長雨、日照不足の影響を受け、全般的に生育が悪く、品薄で高値となっている。このため12月は下旬に向けて回復してくるものの、影響は続く見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
だい	23年	2,206	60	57	61	69	千葉 34%
	24年	1,965	82	71	87	95	愛知 28%
	25年	2,183	85	89	85	88	静岡 14%
	26年	2,247	63	57	58	79	徳島 12%
	27年	1,803	60	58	67	64	神奈川 6%
	計	5ヵ年平均	2,081	70	67	71	79
28年見通し	1,600	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、千葉を中心に入荷する。9月の長雨の影響では種がでなかった地域があり、中旬に数量が減少する。下旬には少しずつ増える見込み。生育も雨の影響で悪く、地上部はよく見えても、地下部は思った以上に良くない。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
に	23年	2,045	110	111	111	113	愛知 85%
	24年	2,072	106	95	109	115	岐阜 6%
	25年	2,083	145	151	157	170	熊本 5%
	26年	2,114	92	92	87	103	岡山 1%
	27年	1,957	105	103	103	112	鹿児島 1%
	計	5ヵ年平均	2,054	112	110	113	123
28年見通し	1,900	140	140	140	140		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知中心の入荷となる。既に入荷がはじまったが、9月の長雨の影響で地上部の生育の割りには、地下部の品質は良くない。下旬に向かうにつれ良くなっていくものの、年内はM中心で少なめの見込み。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

11月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	133,063	227	195	216	268	千葉 21%
	24年	136,938	244	209	241	281	茨城 16%
	25年	131,973	260	242	250	289	北海道 15%
	26年	137,555	241	195	238	290	愛知 7%
	27年	139,108	223	207	214	246	神奈川 5%
計	5カ年平均	135,727	239	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	135,000	240	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、茨城等関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。本県産はキャベツ、トマト等が本格入荷する。9月の曇雨天の影響から生育が回復傾向にある品目が多い。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
だいこん	23年	12,402	59	52	56	67	千葉 48%
	24年	13,297	82	67	77	98	神奈川 46%
	25年	13,801	85	81	80	92	徳島 3%
	26年	14,661	57	46	50	75	
	27年	13,190	53	47	54	56	
計	5カ年平均	13,470	67	59	63	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	12,900	75	80	70	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、神奈川からの入荷が中心となる。千葉は日照不足から生育遅れが一部地域で見られるが肥大は回復傾向にある。神奈川も肥大は回復傾向で2L中心になる見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	23年	8,685	99	87	95	114	千葉 85%
	24年	8,866	124	112	119	137	埼玉 5%
	25年	8,551	156	148	144	175	茨城 4%
	26年	9,786	94	85	90	107	香川 3%
	27年	9,960	94	96	90	95	
計	5カ年平均	9,170	112	105	107	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,300	137	150	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心に、埼玉、茨城等からの入荷となる。千葉は日照不足の影響で肥大が遅れ気味だったが回復傾向にある。埼玉も肥大回復傾向でL中心になる見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	3,375	53	49	53	59	茨城 50%
	24年	3,440	62	52	65	69	愛知 39%
	25年	3,374	77	70	76	88	岐阜 4%
	26年	3,864	48	44	46	56	兵庫 4%
	27年	3,179	48	42	47	56	宮崎 2%
さい	5ヵ年平均	3,446	57	51	57	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,100	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、愛知を中心に入荷する。9月の日照不足の影響で、生育は遅れている。また、雨では種、定植ができなかった地区もあり、生育がばらつき、量も少ない。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キャベツ	23年	3,468	75	64	74	90	愛知 88%
	24年	3,916	70	53	76	84	茨城 7%
	25年	3,423	142	130	135	161	三重 2%
	26年	3,555	75	59	78	87	兵庫 1%
	27年	3,488	53	61	54	49	
べつ	5ヵ年平均	3,570	82	73	83	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,300	160	0	0	0	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城から入荷する。9月の長雨で根張りが良くないものの、回復してきている。11月は量が少なく小玉での出荷となっていたが、12月には玉も肥大してくる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	23年	331	418	361	424	526	愛知 77%
	24年	265	625	658	724	567	茨城 8%
	25年	284	560	576	553	584	群馬 7%
	26年	317	525	396	563	702	埼玉 2%
	27年	277	478	450	507	522	徳島 1%
れん	5ヵ年平均	295	517	480	548	582	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	280	600	600	600	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に関東からも入荷する。9月の長雨の影響で11月出荷までは入荷が少なかったが、徐々に回復している。10月以降の種分については、順調な生育となっている。入荷量は前年並だが、価格は野菜全般の高値の影響から前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	14,086	36	34	35	40	茨城 93%
	24年	14,975	51	40	52	59	兵庫 3%
	25年	15,181	69	61	67	77	群馬 2%
	26年	14,618	34	32	33	38	
	27年	13,709	33	31	32	35	
さい	5ヵ年平均	14,514	45	40	44	50	前年及び本年の入荷量・価格の動き
い	28年見通し	14,000	73	80	70	70	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城を中心に兵庫、群馬から入荷する。茨城は日照不足からの生育遅れや小玉傾向から回復し順調出荷が期待できる。兵庫は曇雨天の影響で定植が2週間程度遅れた。群馬の生育はおおむね良好。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キャベツ	23年	12,899	78	64	75	97	愛知 43%
	24年	13,729	79	59	83	97	千葉 37%
	25年	12,158	140	130	136	152	神奈川 9%
	26年	12,921	77	58	80	94	茨城 8%
	27年	14,171	56	62	56	50	群馬 1%
べ	5ヵ年平均	13,176	85	74	85	96	前年及び本年の入荷量・価格の動き
つ	28年見通し	13,800	95	95	95	95	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>本県、千葉を中心に神奈川、茨城からの入荷となる。本県、千葉、茨城は生育回復傾向にあり順調出荷でL玉中心出荷の見込み。神奈川は生育遅れの影響で収穫が後ろにずれ前年並出荷の見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	23年	1,555	414	332	368	554	群馬 34%
	24年	1,372	637	593	650	654	茨城 24%
	25年	1,479	559	535	533	606	千葉 17%
	26年	1,735	495	366	502	656	埼玉 14%
	27年	1,642	445	426	472	440	栃木 8%
れ	5ヵ年平均	1,557	505	444	501	580	前年及び本年の入荷量・価格の動き
ん	28年見通し	1,600	530	520	520	550	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>群馬、茨城、千葉、埼玉からの入荷が中心となる。関東北部は降雪の影響で生育はやや遅れ気味。茨城は作付増で生育はおおむね良好、下旬から増量する見込み。千葉は生育良好で順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	1,361	297	287	281	331	長野 15%
	24年	1,316	357	316	350	407	静岡 15%
	25年	1,159	385	362	354	441	大分 14%
	26年	1,231	380	321	372	445	愛知 12%
	27年	1,259	370	370	354	395	鳥取 10%
ねぎ	5ヵ年平均	1,265	356	330	341	402	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,300	400	380	400	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、静岡、大分など各地から入荷する。愛知は越津が入荷。他は結束物が入る。愛知は減少しているが、12月には増える。静岡は生育良好。大分は遅れていたが、徐々に回復してきた。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
し た	23年	1,706	227	158	209	311	兵庫 42%
	24年	1,583	388	297	431	408	愛知 19%
	25年	1,630	318	289	289	368	静岡 13%
	26年	1,749	285	170	298	397	熊本 10%
	27年	1,871	205	182	212	228	長崎 8%
し た	5ヵ年平均	1,708	281	216	284	339	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,750	260	250	250	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>兵庫を中心に愛知、静岡、九州から入荷する。上旬には各産地のものが出そろすが、冷え込みによっては、入荷が減ってくる。愛知は9月の長雨の影響で作柄は余り良くない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
き ゆ	23年	1,097	493	435	572	496	愛知 46%
	24年	1,021	512	502	512	533	宮崎 20%
	25年	2,316	221	166	233	276	高知 16%
	26年	1,026	475	346	504	613	鹿児島 16%
	27年	994	490	534	419	530	山梨 1%
き ゆ	5ヵ年平均	1,291	395	350	406	447	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,000	433	450	400	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、宮崎、高知を中心に入荷する。愛知は、苗がよくなかったが、回復してきた。出始めは少ないが、12月は増えてくる。他産地も11月中旬までは良くなかったが、回復してくる。 入荷量は前年並も、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	23年	7,028	227	220	214	245	千葉 25%
	24年	6,787	299	274	285	333	埼玉 16%
	25年	6,717	297	281	270	337	茨城 16%
	26年	6,982	292	256	290	325	群馬 11%
	27年	6,519	316	315	300	327	栃木 8%
	5ヵ年平均	6,807	286	268	271	313	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,500	330	330	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、埼玉、茨城、群馬からの入荷が中心となる。千葉、埼玉、茨城は曇雨天の影響で細物が多かったが回復傾向にあり中心になる見込み。東北産地は切り上がりが早くなる見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
し た ス	23年	7,754	230	165	209	310	静岡 38%
	24年	6,643	396	289	445	437	茨城 14%
	25年	6,997	323	294	305	364	兵庫 12%
	26年	7,282	280	157	298	389	香川 8%
	27年	8,135	201	186	207	208	長崎 7%
	5ヵ年平均	7,362	281	215	287	336	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	8,400	203	210	200	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>静岡、茨城、兵庫、香川からの入荷が中心となる。静岡、兵庫、香川は9月の長雨の影響で定植が遅れたことから徐々に出荷が増えてくる見込みで生育はおおむね良好。茨城は露地からトンネルに切り替わる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年並の見込み。</p>							
き ゆ う り	23年	4,341	520	449	606	515	宮崎 34%
	24年	4,351	537	522	535	552	千葉 19%
	25年	4,703	391	347	349	489	高知 16%
	26年	4,249	498	371	528	601	埼玉 15%
	27年	4,260	522	556	447	561	群馬 8%
	5ヵ年平均	4,381	492	447	491	542	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,300	450	350	450	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>宮崎、千葉、高知、埼玉からの入荷が中心となる。宮崎は生育回復傾向で順調出荷の見込み。高知は樹勢が軟弱気味で推移しており回復は今後の天候次第。千葉の生育はおおむね良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	386	370	349	383	407	熊本 48%
	24年	348	420	408	422	444	愛知 46%
	25年	339	455	462	455	464	高知 5%
	26年	312	444	427	441	486	福岡 1%
	27年	367	417	398	423	430	
す	5ヵ年平均	350	419	407	423	444	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	350	420	410	420	440	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に入荷する。熊本は長 なす、愛知は千両主体の栽培。今作は9月 の日照不足の影響で着果が悪く、これまで 少なかったが、12月には回復してくる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年 並の見込み。</p>					
ト マ ト	23年	737	430	403	432	478	熊本 49%
	24年	823	418	416	429	419	愛知 24%
	25年	873	427	459	426	406	三重 18%
	26年	962	360	345	348	389	岐阜 8%
	27年	1,044	285	236	280	360	
ト	5ヵ年平均	888	378	365	376	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	945	365	385	330	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、三重を中心に入荷する。果菜 類全般に同じ傾向だが、9月の日照不足によ り着果が悪く、これまで数量が極端に少な かった。12月は徐々に回復し、下旬にはま とまった数が出そう。今後の生育は安定してく る見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価 格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	23年	304	694	621	672	749	熊本 53%
	24年	322	703	715	702	672	愛知 35%
	25年	334	753	834	729	698	和歌山 8%
	26年	363	620	594	614	665	宮崎 3%
	27年	422	603	423	574	831	
ト	5ヵ年平均	349	670	626	653	727	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	400	780	800	750	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、和歌山などから入荷する。 大玉トマトと同じ傾向だが、ミニの方が回 復が早い。12月になれば順調な入荷が見込 まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は秋以 降の高値続きの影響から前年を大幅に上回 る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	1,751	476	438	481	529	高知 62%
	24年	1,712	482	501	500	445	福岡 18%
	25年	1,679	531	577	514	497	熊本 8%
	26年	1,625	535	485	518	580	佐賀 4%
	27年	1,796	492	483	506	488	栃木 3%
5ヵ年平均	1,713	503	496	503	507	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
28年見通し	1,800	493	480	480	520		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>高知を中心に福岡、熊本、佐賀からの入荷となる。高知は生育良好で中旬から増量する見込み。福岡、佐賀は好天で生育回復傾向、着果数が多くなってきており順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格も前年並の見込み。</p>							
ト	23年	4,315	494	438	495	553	熊本 47%
	24年	4,865	450	451	455	443	愛知 17%
	25年	4,540	481	505	483	456	栃木 11%
	26年	5,204	398	375	401	421	千葉 8%
	27年	5,533	332	287	332	385	静岡 6%
5ヵ年平均	4,891	426	405	428	447	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
28年見通し	5,100	483	550	500	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本を中心に愛知、栃木、千葉からの入荷となる。熊本、本県は9月の日照不足の影響から着果不良がみられたが、回復傾向にある。熊本は徐々に増量する見込み。本県産はL玉中心の出荷となる見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ミ	23年	1,238	677	597	683	749	熊本 40%
	24年	1,454	693	715	700	666	愛知 23%
	25年	1,563	706	760	708	655	宮崎 11%
	26年	1,598	609	573	607	649	千葉 8%
	27年	1,763	573	435	557	769	静岡 7%
5ヵ年平均	1,523	648	610	646	698	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
28年見通し	1,600	733	900	700	600		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。各産地とも9月の日照不足の影響で着果数が少なかったが、回復傾向にある。熊本、本県は中旬から増量する見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	391	456	461	454	500	鹿児島 49%
	24年	353	443	312	511	577	宮崎 41%
	25年	416	450	442	468	518	高知 10%
	26年	428	461	377	476	630	
	27年	384	505	393	542	593	
マン	5ヵ年平均	394	463	399	489	564	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	400	500	400	550	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎、高知から入荷する。各産地ともに生育が遅れていたが、回復してくる。11月に数量が出ておらず、12月は多くなってくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。</p>					
ばれい	23年	2,792	97	96	98	92	北海道 71%
	24年	2,849	89	89	92	84	長崎 28%
	25年	2,761	100	113	106	85	
	26年	3,043	92	93	93	90	
	27年	3,267	97	97	100	98	
いしよ	5ヵ年平均	2,942	95	97	98	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,800	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長崎からの入荷となる。北海道は前年より少ない中、貯蔵物が計画出荷される。長崎は12月になると増えてくるが、日照不足の影響で良くない見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	5,031	81	86	86	80	北海道 100%
	24年	6,287	66	67	71	69	
	25年	5,249	112	123	125	133	
	26年	6,611	79	83	84	81	
	27年	7,105	66	67	68	68	
ぎ	5ヵ年平均	6,057	79	83	85	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,000	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道の貯蔵物が入荷する。4月まで計画出荷される。大玉傾向で2L中心に安定した出荷が見込まれる。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	1,404	437	416	426	474	宮崎 34%
	24年	1,353	459	305	526	591	茨城 33%
	25年	1,530	458	426	464	489	高知 18%
	26年	1,530	459	346	442	624	鹿児島 13%
	27年	1,371	508	387	553	896	
	5ヵ年平均	1,438	464	377	481	612	
	28年見通し	1,340	467	500	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
宮崎、茨城、高知、鹿児島からの入荷が中心となる。宮崎、高知は生育回復傾向で中旬から増量する見込み。茨城は着果負担の影響で樹勢が軟弱気味で出荷は減少していく見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
ばれいしょ	23年	8,517	105	105	102	107	北海道 84%
	24年	9,217	94	92	93	98	長崎 16%
	25年	8,180	111	111	111	112	
	26年	8,861	95	94	93	97	
	27年	8,699	100	98	100	107	
	5ヵ年平均	8,695	101	100	100	104	
	28年見通し	7,000	167	165	165	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、長崎からの入荷がほとんどを占める。北海道は貯蔵作業が終了、小玉傾向で歩留まりの低下が懸念材料。前年を大幅に下回る出荷を見込む。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
たまねぎ	23年	9,921	90	89	91	90	北海道 97%
	24年	11,682	73	71	73	76	中国 2%
	25年	9,963	129	125	132	132	
	26年	11,033	86	85	87	89	
	27年	11,460	68	71	66	69	
	5ヵ年平均	10,812	88	87	89	90	
	28年見通し	11,400	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は収穫作業が終了し計画出荷中。台風の影響は限定的で作柄良好だったことからL大中心で前年並の出荷を見込む。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	23年	13,474	295	251	311	335	和歌山 18%
	24年	12,693	317	260	343	358	長野 17%
	25年	11,803	332	298	353	350	三重 16%
	26年	11,654	337	290	362	381	フィリピン 10%
	27年	9,997	381	334	399	414	青森 6%
	5ヵ年平均	11,924	330	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	11,300	340	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかん、りんご、いちごを中心に入荷。9月の長雨、台風の影響を受けた品目も見受けられる。なかでも、りんごは春先の霜害や台風などにより例年より少なくなる見込み。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
みか	23年	7,250	186	159	183	222	静岡 42%
	24年	6,043	221	201	210	247	愛知 32%
	25年	6,144	228	216	234	232	和歌山 20%
	26年	5,804	205	181	204	234	愛媛 2%
	27年	4,359	274	229	280	311	長崎 2%
	5ヵ年平均	5,920	219	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,500	230	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡、愛知、和歌山中心に入荷。前年が大幅な生産減のため大幅な増となるが、今年は裏年のため、平均は上回らない。極早生の評価がよかったことから早生も期待できる。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							
いちご	23年	597	1,581	1,155	1,665	1,919	愛知 62%
	24年	532	2,108	1,744	2,178	2,266	熊本 19%
	25年	524	1,806	1,358	1,775	2,272	三重 5%
	26年	539	1,928	1,309	2,115	2,225	鹿児島 5%
	27年	603	1,548	1,314	1,511	1,776	岐阜 3%
	5ヵ年平均	559	1,783	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	550	1,800	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心として熊本等から入荷。前年は気温高により前進出荷で、12月に大幅な入荷増となったが、今年はクリスマスの物日需要には不足感も。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込みだが、平均的な量・価格となる見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	23年	57,925	355	306	339	356	愛媛 26%
	24年	57,991	342	294	357	369	和歌山 12%
	25年	55,770	354	326	372	362	長崎 10%
	26年	54,751	368	316	381	397	青森 8%
	27年	52,311	402	357	412	430	熊本 6%
	5ヵ年平均	55,750	363	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	55,000	390	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。11月から高値が続いているため、上旬は荷動きが重い状況が想定されるが、年末は贈答需要があり上位等級品は活発な荷動きが期待される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回ると見込まれる。</p>					
みかん	23年	36,856	228	211	227	239	愛媛 41%
	24年	35,940	253	243	251	260	和歌山 19%
	25年	35,413	249	246	249	251	長崎 16%
	26年	33,133	234	211	394	251	静岡 8%
	27年	30,980	277	258	276	290	熊本 8%
	5ヵ年平均	34,464	247	233	277	257	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	31,000	270	260	270	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛、和歌山、長崎等から入荷。愛媛はMサイズ中心で推移している。和歌山は降雨で玉肥大が進みMサイズ比率が高くなっている。長崎は曇雨天の日が多く、12月入荷量は少なかった前年並みとなる見込み。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回ると見込まれる。</p>					
いちご	23年	2,719	1,574	1,199	1,563	1,939	栃木 42%
	24年	2,213	2,016	1,821	1,949	2,167	福岡 19%
	25年	2,469	1,766	1,402	1,726	2,122	茨城 10%
	26年	2,667	1,946	1,451	1,970	2,287	静岡 8%
	27年	2,936	1,695	1,460	1,606	1,940	佐賀 8%
	5ヵ年平均	2,601	1,789	1,454	1,753	2,084	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,700	1,800	1,500	1,800	2,000	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、福岡、茨城等から入荷。栃木は9月の長雨による定植遅れと生育不良により7～10日程度遅れている。福岡は前年のような大幅な前進はないが出始めから入荷量がまとまっている。茨城は定植後の天候不良で全体の生育は遅れ気味。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	23年	2,982	48	
		24年	2,749	60	
		25年	2,914	53	
		26年	2,818	61	
		27年	2,859	58	
	5ヶ年平均		2,864	56	
	28年見通し		2,800	60	
概要	愛知、沖縄、三重等から入荷。作付けは前年並みではあるが、天候不順の影響により秀品率は低下しており、上位等級は少なめと思われる。年末需要で下旬からは引き合いも強くなり、堅調な動きとなる見込み。				
小 ぎ	実績	23年	2,328	29	
		24年	1,867	39	
		25年	2,449	29	
		26年	1,989	35	
		27年	2,427	32	
	5ヶ年平均		2,212	32	
	28年見通し		2,300	32	
概要	沖縄中心に愛知、奈良から入荷。台風による被害は少なかったが、天候不順の影響により秀品率の低下が見受けられる。作付けも昨年と比べやや少なく、堅調な動きが見込まれる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	23年	1,312	40	
		24年	1,291	42	
		25年	1,324	44	
		26年	1,280	48	
		27年	1,227	44	
	5ヶ年平均		1,287	44	
	28年見通し		1,280	45	
概要	愛知中心に長野、和歌山等から入荷。今年は早いうちから気温が低い日があったので、品質も良く、12月商戦の秀品は例年より増える見込み。12月の気温も例年並みの冷え込みが見込まれ、そこそこに単価的にも安定販売できる。				
か す み	実績	23年	190	76	
		24年	170	104	
		25年	154	105	
		26年	180	106	
		27年	249	68	
	5ヶ年平均		189	89	
	28年見通し		180	100	
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。後半までには量は増えてきそうだが、11月から少ない影響が12月中旬まで続くと年末は高い相場となる。前半は業務中心の販売で、後半からは一般需要が入り、活発な動きとなる。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	23年	454	178	
		24年	480	174	
		25年	419	185	
		26年	431	185	
		27年	418	185	
	5ヶ年平均		440	181	
	28年見通し		420	185	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、愛知、宮崎などから入荷。やや前進出荷の情報もあり、特に後半はピンク系が少なくなりそう。鉄砲ユリも同様に前進し、後半はかなり少ない。LAは今のところ順調。総体的に後半の年末商戦はやや少なく、価格はやや高予想。販売の中心は26日となる。</p>				
洋らん	実績	23年	600	100	
		24年	681	95	
		25年	672	105	
		26年	693	100	
		27年	661	83	
	5ヶ年平均		661	97	
	28年見通し		650	100	
概要	<p>高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知、輸入等から入荷。夏の高温と9月の日照不足が予想以上に影響を与えているようで、国産シンビは例年より入荷が若干少ない見込み。今後の天候にもよるが、今年の冬は冷え込みが厳しいため、あまり入荷は増えず、堅調な市況となる予想。</p>				
ばら	実績	23年	786	84	
		24年	897	79	
		25年	884	77	
		26年	707	100	
		27年	683	87	
	5ヶ年平均		791	85	
	28年見通し		700	85	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。12月に入ると赤バラ、赤SPバラの需要が高まる。SPバラについては作付けが少ないため、品薄が続く。全体的な出荷量は少なめで、ピークは年明けになる見込み。</p>				
枝も	実績	23年	4,805	47	
		24年	4,964	52	
		25年	5,154	57	
		26年	5,099	57	
		27年	4,423	55	
	5ヶ年平均		4,889	54	
	28年見通し		4,500	55	
概要	<p>茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡、長野から年末花材が入荷。松は種が不足し、植え付けが少ない年の物で出荷量は少ない。下等級の引き合いは強くなりそう。その他の花物は順調で動きは横ばいか。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	23年	8,051	1,007	
		24年	9,874	929	
		25年	11,165	839	
		26年	8,522	936	
		27年	7,249	1,072	
	5ヶ年平均		8,972	945	
	28年見通し		7,200	1,083	
概要	<p>入荷数量は昨年より減少か。愛知産が中心の中、輸入原木の減少から各産地ともに在庫が少なく注文中心の入荷予想で平均単価は上がる見込み。サイズは7~8号が中心で大鉢は少ない予想。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(65.2%)、2位鹿児島(24.5%)、3位三重(3.0%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	23年	12,802	594	
		24年	17,871	438	
		25年	17,824	382	
		26年	13,693	350	
		27年	7,750	369	
	5ヶ年平均		13,988	427	
	28年見通し		7,700	364	
概要	<p>入荷量は生産量減、生産者減のため、昨年並に少ない見込み。入荷量の減少に伴い、価格面は安定し昨年並と予想。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(56.0%)、2位埼玉(26.7%)、3位茨城(9.3%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	23年	687,038	371	
		24年	718,558	360	
		25年	670,680	417	
		26年	622,950	402	
		27年	574,269	412	
	5ヶ年平均		654,699	391	
	28年見通し		570,000	414	
概要	<p>入荷量は昨年並か。9月の天候不順で生育が遅れてたため、上旬に入荷のピークを迎える。価格面では天候次第ではあるが、前半はやや安くなる見込み。後半になるにつれ、入荷も落ち着き相場も安定していくと予想。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(29.2%)、2位長野(20.0%)、3位岐阜(10.9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	23年	150,478	2,489	
		24年	134,328	2,473	
		25年	129,140	2,575	
		26年	125,977	2,319	
		27年	113,376	2,397	
	5ヶ年平均	130,660	2,454		
	28年見通し	113,000	2,398		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様全体的に出荷が早めの傾向があり、12月中旬以降は入荷量が少なくなる見込み。今年の商品は良い物とそうでない物の差があり、全体的に花立ち（本数）が例年より少ない印象を受ける。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（48.0%）、2位徳島（10.2%）、3位高知（7.1%）となっている。</p>				
カラコエ	実績	23年	34,644	202	
		24年	32,745	220	
		25年	39,366	193	
		26年	34,266	207	
		27年	25,394	197	
	5ヶ年平均	33,283	204		
	28年見通し	25,000	200		
概要	<p>入荷量は、前年並か。今年も花の咲き具合の良い商品の引き合いが強い。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜（60.6%）、2位埼玉（32.8%）、3位茨城（4.6%）となっている。</p>				
パンジー	実績	23年	610,404	36	
		24年	524,640	44	
		25年	573,244	47	
		26年	473,076	28	
		27年	403,892	42	
	5ヶ年平均	517,051	40		
	28年見通し	400,000	43		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。9月の長雨により減少、作付も減っている。価格は今の所は安定しているが、日中の気温が15度割り込むと動きが止まる。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（36.5%）、2位奈良（26.0%）、3位三重（13.8%）となっている。</p>				

全国における主要農林水産物の輸出入実績(2016)

1 輸出実績

品名	9月						9月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
果実(生鮮・乾燥)	2,424	79.3	1,647,959	87.0	680	109.6	21,276	109	11,734,849	117	552	109
うんしゅうみかん	19	111.7	17,576	97.7	940	87.4	288	95	212,696	112	740	108
りんご	659	53.9	235,959	49.9	358	92.5	16,476	107	6,596,289	111	400	108
なし	787	82.0	393,971	79.7	501	97.2	1,301	110	674,325	109	518	91
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	436,301	96.8	4,133,050	133
緑茶	340	100.3	1,083,113	131.5	3,188	131.1	3,041	107	8,408,817	119	2,765	98

2 輸入実績

野菜(生鮮・冷蔵)	69,967	132.9	8,059,699	89.6	115	67.4	580,389	96	70,627,093	95	122	99
トマト	631	94.3	253,600	87.2	402	92.4	4,808	98	1,796,303	94	374	96
たまねぎ	31,346	146.6	1,204,025	95.7	38	65.2	210,482	87	11,961,298	92	57	106
にんにく	1,716	91.2	518,321	115.7	302	126.8	15,503	99	4,206,681	120	271	121
ねぎ	5,227	96.8	563,750	73.4	108	75.8	38,492	90	5,801,867	107	151	118
結球キャベツ	1,348	46.4	38,872	29.8	29	64.2	9,036	45	326,533	35	36	79
ブロッコリー	3,156	191.0	650,846	117.5	206	61.5	18,068	116	3,938,048	95	218	82
にんじん・かぶ	15,262	202.2	530,084	74.4	35	36.8	58,385	104	2,800,470	86	48	82
ごぼう	3,988	95.7	194,974	89.1	49	93.1	33,799	112	2,066,336	117	61	105
えんどう	82	362.5	45,587	356.8	557	98.4	621	100	317,371	120	511	120
アスパラガス	688	102.5	481,720	95.4	700	93.1	6,526	117	4,585,010	106	703	90
まつたけ	189	57.3	1,500,156	87.4	7,933	152.5	507	94	2,840,481	94	5,598	100
しいたけ	171	95.7	49,026	73.7	287	77.0	1,194	78	419,941	70	352	90
かぼちゃ	393	152.5	51,755	145.5	132	95.4	93,190	107	7,518,930	82	81	77
果実(生鮮・乾燥)	136,785	99.9	23,614,781	90.7	173	90.8	1,333,083	102	246,863,339	96	185	94
バナナ(生鮮)	84,862	99.0	10,173,715	101.9	120	103.0	726,094	100	78,970,891	102	109	102
パイナップル(生鮮)	12,574	121.5	1,237,424	132.3	98	108.9	109,178	95	10,713,524	109	98	115
レモン(生鮮・乾燥)	3,856	88.9	587,508	83.5	152	93.8	40,587	100	8,119,348	85	200	85
オレンジ(生鮮・乾燥)	9,111	115.9	1,156,862	120.6	127	104.1	88,804	122	12,273,115	110	138	90
グレープフルーツ(生鮮・乾燥)	1,723	46.4	201,749	61.5	117	132.4	66,936	78	8,861,531	85	132	110
メロン(生鮮)	1,857	96.2	190,118	75.4	102	78.5	23,859	118	2,563,521	112	107	95
ぶどう(生鮮・乾燥)	3,999	106.1	1,230,893	88.6	308	83.5	47,271	116	14,501,982	108	307	93
キウイフルーツ(生鮮)	5,721	79.9	1,696,039	73.2	296	91.6	78,192	111	26,557,748	108	340	97
いちご(生鮮)	593	85.7	568,874	70.8	959	82.6	1,877	89	1,812,814	75	966	84
切花(生鮮・乾燥)	4,673	95.6	3,912,592	86.3	837	90.3	30,938	100	27,112,335	93	876	93
鳥獣肉類	166,928	98.7	80,584,087	93.2	483	94.4	1,524,449	107	725,407,272	94	476	89
牛肉(くず肉含む)	42,358	91.8	23,460,948	80.7	554	87.8	374,100	101	212,896,304	83	569	82
豚肉(くず肉含む)	72,354	112.8	38,016,900	111.2	525	98.6	641,313	110	337,371,586	107	526	97
鶏肉	41,998	84.0	8,938,125	61.2	213	72.9	416,325	106	90,254,010	76	217	71
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	127,195	87.9	87,039,247	83.7	684	95.3	1,183,084	96	777,398,804	92	657	96
まぐろ類	18,837	85.4	15,923,141	77.2	845	90.4	156,876	104	140,429,475	95	895	92
さば・さんま・あじ・いわし	4,373	131.4	795,456	98.4	182	74.9	53,390	96	10,493,479	84	197	87

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

※速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

※表中に使用した符号は、次のとおりです。

- 「 0 」・・・単位に満たないもの
- 「 ... 」・・・事実不詳
- 「 - 」・・・事実のないもの

関 連 指 数

9月号から消費者物価指数については平成27年基準に改定しました。

項目 年月		消費者物価指数 <small>(全国 平成27年=100 愛知県 平成27年=100)</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年 平均	96.6	89.3	88.8	88.5	87.9
	26年 平均	99.2	92.0	92.5	95.3	96.4
	27年 平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	28年 7月	99.6	98.7	102.0	101.8	100.8
	8月	99.7	96.1	104.6	101.6	102.7
9月	99.8	106.7	96.6	101.8	105.5	
愛 知 県	25年 平均	96.5	88.7	88.8	86.4	89.4
	26年 平均	99.1	93.2	93.4	93.6	97.4
	27年 平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	28年 7月	99.4	98.1	101.1	102.4	100.0
	8月	99.6	95.9	105.8	103.7	100.7
9月	99.6	106.2	98.2	101.5	102.3	

項目 年月		農業物価指数(平成22年=100)				
		農産物総合	米	いも	野菜	畜産物
25年 平均	平均	102.8	112.8	78.7	98.7	107.7
	26年 平均	102.2	98.8	83.7	97.8	118.4
	27年 平均	107.6	88.6	105.8	110.4	126.8
	28年 7月	111.6	93.4	131.4	108.4	135.2
	8月	102.2	93.5	107.9	89.0	131.2
9月	111.3	98.8	102.3	114.7	135.6	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国…総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県…愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名古屋市小売価格(円)													
品 目 年月	うるち米 (単一品種、 「コシヒカリ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5kg	1kg										100g	1kg
25年 平均	2,149	156	202	631	499	304	162	367	225	564	652	165	494
26年 平均	1,970	170	190	661	481	321	162	376	276	581	649	161	545
27年 平均	1,855	202	227	691	561	374	175	373	270	623	684	180	563
28年 7月	1,910	152	215	831	339	453	223	409	290	559	636	156	704
8月	1,892	132	201	789	342	421	195	453	324	559	599	155	…
9月	1,913	157	221	772	605	414	232	629	296	597	607	185	…
品 目 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	牛肉(ロース)	豚肉(バラ※)	まぐろ
	1kg		100g	1kg		100g	1本		100g				
25年 平均	557	300	364	209	216	772	540	157	177	319	810	223	407
26年 平均	584	336	437	174	240	824	533	166	175	336	861	243	428
27年 平均	643	383	477	183	264	886	526	177	177	353	925	228	461
28年 7月	…	316	420	…	273	868	495	173	178	334	911	236	477
8月	…	351	414	…	284	917	497	180	195	325	953	244	456
9月	758	294	395	…	277	870	497	173	178	337	947	236	459

※豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)
＝もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.522
平成28年12月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6719